

施策・主な取組シート

基本方向	(5) まちの快適・うるおい空間づくり	基本政策	5) 自然環境の保護・環境の保全
(1) 施策			
名称	4 0 環境の保全		
目標	良好な環境を維持・向上させ、環境汚染の防止に努めるとともに、地域環境の美化促進・美観風致の維持を図り、快適で住みよい環境の実現をめざします。		
現状と課題	本市では、大気、水質、騒音、放射線の空間線量等の環境調査や環境負荷の発生源に対する立入調査等を実施するとともに、「環境基本計画」や省エネルギー、地球温暖化対策に関する計画に基づき、環境保全推進のための取り組みを行っています。一部の項目で環境基準の超過、屋外燃焼行為や航空機騒音等の苦情申立などがあり、地球温暖化対策や省エネルギーへの取り組みなどのグローバルな問題について、情報提供や啓発活動等を通じて、市民への理解、協力を求めていく必要があります。 環境美化活動や不法投棄対策の推進に努めていますが、たばこの吸い殻などゴミのポイ捨て、犬糞の不適正な管理や河川・海岸・山間部への不法投棄が見受けられるほか、土地所有者等の不適正な管理により雑草等が繁茂した空き地が点在しています。 全小学校を拠点に学校で育てた花を、学校支援ボランティア、地域住民及び各種団体等と相互に連携・協力し合う活動を市が支援することにより、たくさんの花が植栽できるように取り組んでいます。		
課題解決の方向性	身近な環境の維持、向上を図るため、大気や騒音などの環境監視や環境負荷発生源の監視・指導等に取り組むとともに、公害苦情等に対し、関係法令に基づき適切に対処します。 計画的な環境保全活動を推進するため、「環境基本計画」や省エネルギー、地球温暖化対策実行計画を推進し、その効果を検証します。 「きれいなまちづくり」を推進し、ゴミのポイ捨て、犬糞の不適管理及び不法投棄がされにくい環境づくりに努めるとともに、雑草等処理対策の適時適格な実施を図ります。		
(2) 主な取組			
No.1	名称	環境・発生源の監視	
	担当課	環境管理課	
	概要	・大気環境や公共用水域の水質の測定により、環境基準の達成状況や経年変化を把握し、県等の関係機関との協力や広報・啓発活動を通じて、環境基準の達成や環境悪化の防止を図ります。 ・羽田空港再拡張後の経過に留意しながら、引き続き航空機騒音を監視するとともに、県、近隣市と協力して騒音の低減に取り組みます。 ・環境負荷の発生源を監視するため、環境協定締結企業や水道水源保護条例対象事業場に対し立入調査を行い、協定値等の遵守状況を確認します。	
No.2	名称	環境保全活動の推進	
	担当課	環境管理課	
	概要	・「環境基本計画」に基づき、「安心して暮らせる生活環境の確保」、「身近な自然の保全と自然共生社会の構築」、「資源を大切に作る地球環境にやさしいまちづくり」の目標達成をめざします。 ・省エネルギー及び地球温暖化対策に関するそれぞれの計画に基づき、市が排出する温室効果ガスの削減に取り組めます。また、市民への情報提供や啓発に努めます。	

No.3	名称	環境美化対策の推進			
	担当課	まち美化推進課			
	概要	・「たばこポイ捨て禁止路面標示シート」の適正な維持管理、「ゴミのポイ捨て禁止看板」及び「犬糞持ち帰り啓発看板」を適時適切に設置します。 ・不法投棄監視員制度を活用し、不法投棄の防止・早期発見に努めるとともに、状況に応じ監視カメラを設置します。 ・雑草等処理対策を確実に実施し、刈取り実施率の向上に努めます。 ・地域まち美化推進支援事業の充実に努めるとともに、ボランティア清掃活動を積極的に支援します。			
施策目標の実現に関する指標		指標	現状値 (H30)	目標値 (H34)	設定の考え方
		温室効果ガス総排出量	12,411 t (H28実績)	11,500 t (8%削減)	第3次木更津市地球温暖化対策実行計画の目標によるもの
		雑草等刈取り実施率	H29実績＝81.1% H30目標＝81.2%	82.0%	所有地の適正管理に対する意識が希薄になる傾向にある中、雑草等の刈取り実施率を向上させることは困難が予想されますが、毎年0.2%の向上を目指します。